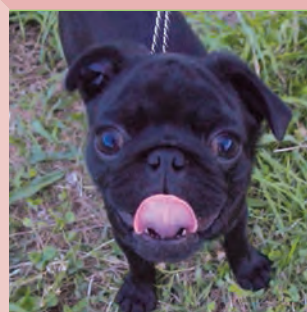
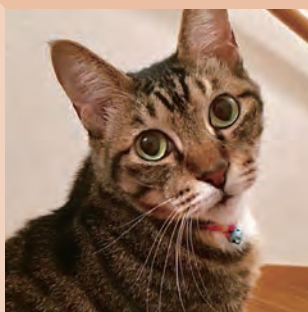
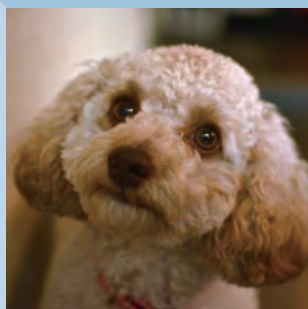
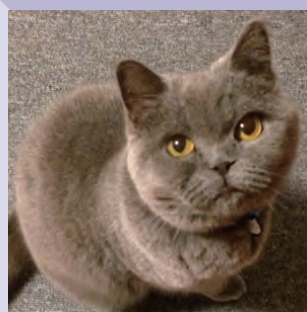
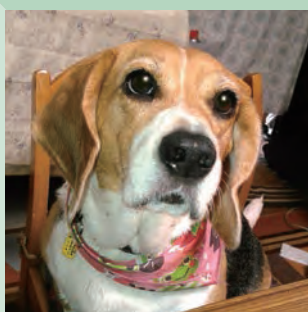


飼い主のための ペットフード・ガイドライン

～犬・猫の健康を守るために～



はじめに

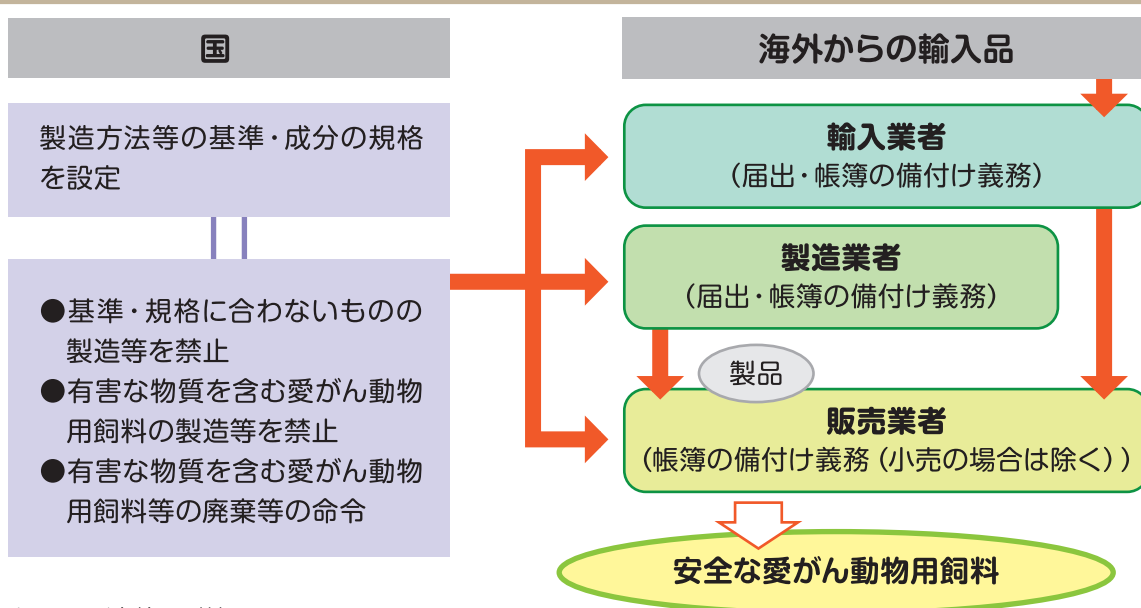
2008年6月、愛がん動物用飼料（ペットフード）の安全性の確保を図り、ペットの健康を保護し、動物の愛護に寄与するために、「愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律（ペットフード安全法）」が成立し、2009年6月1日から施行されました。

この法律は、ペットフードの製造の方法や表示についての基準、成分についての規格を定め、これに合わないペットフードの製造、輸入又は販売を禁止するものです。ペットフードの製造業者、輸入業者及び販売業者は、定められた基準や規格を守らなければなりません。

※この法律におけるペットフードとは犬と猫の栄養に供することを目的として使用されるものです。

（2018年8月現在）

ペットフード安全法の概要



なお、この法律の詳細については、

環境省ホームページ (<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/>) または、

農林水産省ホームページ (<http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/petfood/>) をご覧下さい。

しかしながら、ペットフード安全法の規制だけで、ペットの健康被害を防げるわけではありません。ペットの健康と安全を守るためには、フードを与える飼い主自身が、ペットの生態や必要な栄養素、食べ物などについて理解し、適切に与えることが大切です。「動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護管理法）」においても、次のように規定されています。

動物愛護管理法

第2条 基本原則 抜粋

・全ての人は、動物を取り扱う場合、適切な給餌・給水を行わなければならない。

第7条 動物の飼い主の責務 抜粋

・動物の種類・習性等を正しく理解し、動物の健康及び安全を保持するように努めること。
・感染症などの病気の知識を持ち、予防するために必要な注意を払うように努めること。

このガイドラインは、犬と猫を対象として、ペットフードの選び方や与え方、日頃の健康管理などについて紹介し、飼い主の方々の理解と適切な飼養を推進することを目的として作成しました。

目次



1	最初に知っておきたいこと	
1-1	必要な栄養素の違い	3
1-2	塩分・糖分について	4
1-3	フードの与え方	5
1-4	与えてはいけないもの、注意が必要なもの	6
2	市販のペットフードについて	
2-1	市販のペットフードの種類と選び方	8
2-2	表示の見方	10
3	ペットフードの保存方法	12
4	体調管理について	
4-1	痩せすぎ、太りすぎにしないために	13
4-2	日頃の体調管理	15
4-3	こんなことにも気をつけましょう	16
5	Q&A	17
	参考資料	21
	地方環境事務所等一覧	22

最初に知っておきたいこと

1-1 必要な栄養素の違い

- 私たちと同じように、犬や猫は、たんぱく質、脂質を始め、炭水化物、ミネラル、ビタミンなどの栄養素を食べ物から摂り入れなければ健康に生きることができません。
- しかし、犬と猫では、必要な栄養素の割合に大きな違いがあります。

犬は雑食

犬は、人と長い間、共同生活していく中で雑食性が進みましたが、人よりもたんぱく質を多く必要とします。



猫は肉食

猫は、人と暮らし続けていても肉食性を保ち続けたため、人や犬に比べてたんぱく質を多く必要とします。

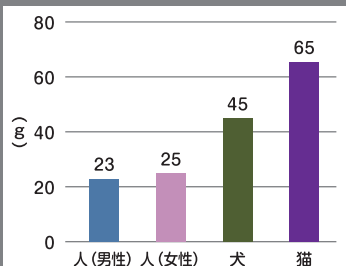


■1,000kcalの食事に含まれるたんぱく質の推奨量の比較

データ

〔人〕
日本人の食事摂取基準（2015年版、厚生労働省）30～49歳

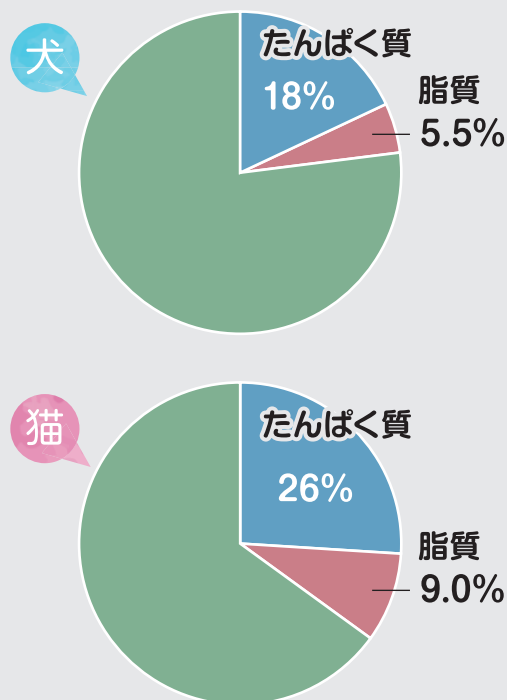
〔犬・猫〕
米国飼料検査官協会（AAFCO）Official Publication 2016



犬と猫の平均的な食事に含まれる栄養素含有量の比較

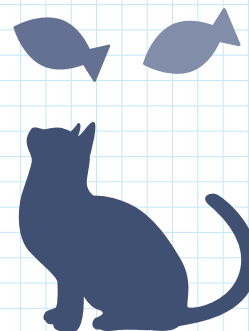
（乾物、代謝エネルギー4kcal/gの場合）

< AAFCO Official Publication 2016 >



MEMO 猫のタウリン欠乏症

猫は、人や犬と違い、タウリンを体内で十分に合成することができません。タウリンが不足すると、猫では、眼の障害（網膜萎縮）や、心臓の疾患（拡張型心筋症）などを引き起こすことがあります。手作りフードを利用する場合などでは注意が必要です。タウリンは、魚介類や動物の内臓などに多く含まれています。



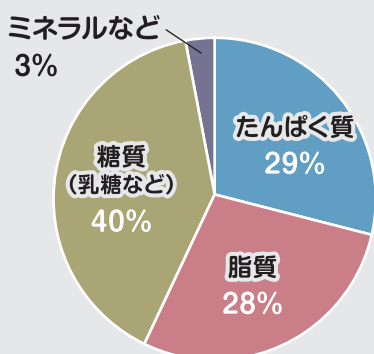
乳の成分



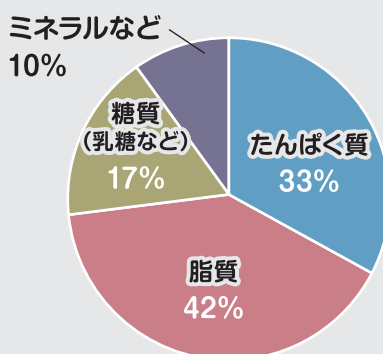
牛乳はカルシウムなどのミネラルや多くの栄養素を含み、私たち人間にとって良質な食品の一つです。しかし、犬や猫の母乳は牛乳に比べてたんぱく質や脂肪の量が多く、乳糖などの糖質や水分が少ないのが特徴です。

このような違いから、子犬や子猫に牛乳を与えると、水分が多く、脂質が少ないためにエネルギーやたんぱく質が不足し、健全に成長できないことがあります。また、成犬や成猫に乳糖を多く含む牛乳を与えると、乳糖をうまく消化吸収することができないため、下痢を起こすことがあります。

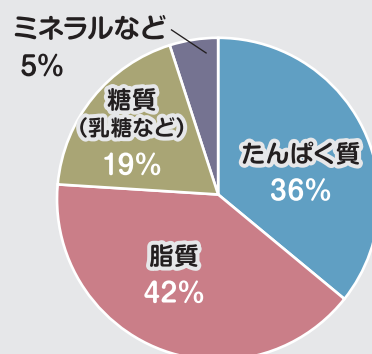
【牛乳】



【犬の母乳】



【猫の母乳】



牛乳、犬の母乳、猫の母乳の成分量 (乾物、%)

1-2 塩分・糖分について

●塩分・糖分の摂りすぎに注意が必要です。

塩分

人が味付けをしている食事、総菜、ハムなどを犬や猫に与えてしまうと、塩分摂取量が過剰となることがあります。塩分の摂取過剰は人と同様に心臓や腎臓に負担をかけてしまうことになります。そのため、チーズ等を与える際は犬猫専用のものを与えましょう。

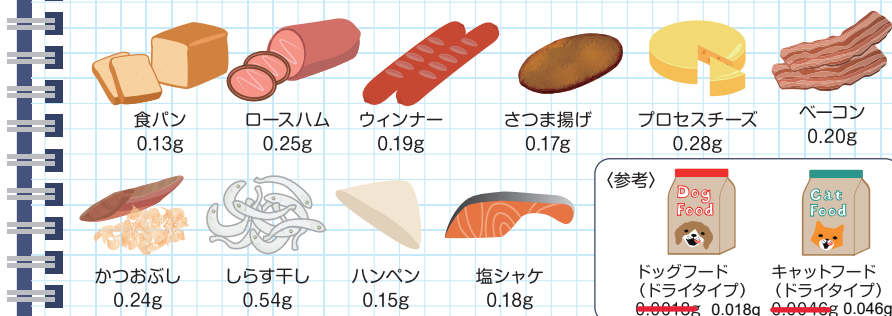
体重5kgの
犬猫 (避妊去勢済み) の
1日の塩分摂取量の目安

犬	猫
0.18g	0.33g

<出典>AFFCO Official Publication 2016
※体重5kgの犬猫 (避妊去勢済み) の1日当たりのエネルギー要求量 (P.13) をもとに算出。

MEMO ■塩分の多い食べ物の例 (10gあたりの食塩量)

<出典>AFFCO Official Publication 2016



糖分

犬は甘みのある食べ物が大好きです。肥満などの原因になるため砂糖や果物の与えすぎには注意しましょう。

猫は甘みを感じることができず、フルクトース (果糖) を代謝する酵素も持っていません。

1-3 フードの与え方

●犬と猫にはフードの食べ方に違いがあります。犬や猫それぞれに合った方法でフードを与えましょう。

犬の場合



犬は、1回で1日分のフードを食べることが出来るほど大きい胃を持っているため、目の前にあるフードをお腹いっぱい食べる習性があります。

与える回数が1日1回の場合、慌てて飲み込んで、のどに詰まらせたり、肥満の原因になることから、1日分を数回に分けて与えるようにしましょう。

市販のペットフードの場合には、パッケージに表示してある給与量の目安や与え方を参考にしましょう。

猫の場合



猫は、昼夜を問わず頻繁に少量ずつ食べる習性があります。1日分のフードを2～3回に分けて与えるか、ドライフードを置いておき、いつでも食べることができるように工夫しましょう。ただし、フードを置いておく場合は、常に清潔にし、定期的に交換するようにしましょう。

水分の多いウェットフードや手作りフードなどは、品質の低下が早いいため、そのまま置きっぱなしにせず、食べ残しはすぐに片付けましょう。

MEMO 飲み水

水は犬や猫の体の60～80%を占める重要な要素です。

体に必要な水分のほとんど(90～95%)は、飲み水及びフードから摂取されます。実際には食べているフードの種類や、気温、運動量などによっても大きく左右されるので、いつでも新鮮な水が飲めるように用意しましょう。

特にドライフードは水分含有量が少ないため、ドライフードを与えるときは必ず新鮮な水をフードのそばに置いておきましょう。また、猫にドライフードを与えるときには飲み水を複数箇所に置くことがおすすめです。

1-4 与えてはいけないもの、注意が必要なもの

●人の食べ物でも、犬や猫には害を及ぼす場合があります。タマネギやチョコレートなどを犬や猫に食べさせてはいけません。

× 与えてはいけないもの

■タマネギ・ネギ・ニラ・ニンニク



タマネギなどに含まれている犬や猫に有害な成分（アリルプロピルジスルフィド）が赤血球を破壊し、犬や猫が大量に食べると、血尿や下痢、嘔吐、発熱などを引き起こすおそれがあります。加熱してもこの成分は分解されず、ハンバーグやカレーなどのタマネギが含まれる加工食品、また、タマネギそのものではなくても、エキ스가しみ出た味噌汁やすきやきの煮汁など与えてはいけません。（同様の成分は、長ネギ、ニラ、ニンニクなどにも含まれています。）

■チョコレート



犬にチョコレートを与えると、テオブロミンが原因で嘔吐、下痢、発熱、けいれんの発作などを引き起こします。また、猫でも同様の症状を引き起こすことがありますのでチョコレートを与えてはいけません。室内飼育の場合には、買い置きのチョコレートなどを部屋に放置ないようにしましょう。

■キシリトール入りのガムなど



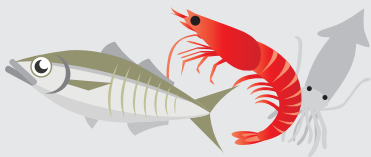
キシリトールは、虫歯予防などに有効として人間用のガムや歯磨き粉などに含まれていますが、犬が食べてしまうと、少量でも、血糖値の低下や嘔吐、肝不全などを引き起こすので与えてはいけません。

■鶏の骨



鶏の骨は縦にさけやすく、噛んで割れるととがった形状となり、のどや消化管を傷つけることがあるため、犬や猫に与えてはいけません。

■生の魚介類 (魚・イカ・タコ・エビ・カニ)



生のイカや貝などの魚介類や、カニ、エビなどの甲殻類はビタミンB1を分解する酵素を持っているため、猫に与えると体内のビタミンB1が欠乏して後脚の麻痺を引き起こします。魚介類は必ず加熱調理をして与えるようにしましょう。

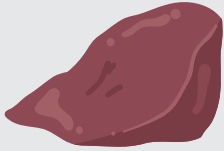
■ブドウ・干しブドウ



犬や猫にとって腎不全の原因になります。特に、ブドウの皮は与えてはいけません。

△ 注意が必要なもの

■ レバー



ブタやニワトリなどのレバーにはビタミンAが多く含まれており、犬がビタミンAを過剰に摂取すると、食欲不振、関節炎を引き起こすことがあります。また、猫でも同様に注意が必要であり、レバーを与えすぎないようにしましょう。

■ ホウレン草



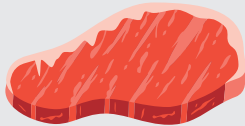
シュウ酸が多く含まれているため、シュウ酸カルシウム尿石症の原因になります。茹でてアク抜きをすることで、シュウ酸の量を減らすことができます。

■ コーヒー・緑茶・紅茶など



カフェインが含まれているため、これらの飲料を与えると、犬や猫は下痢、嘔吐、体温不調、多尿、尿失禁、テンカンの発作などを引き起こすことがあります。

■ 生肉



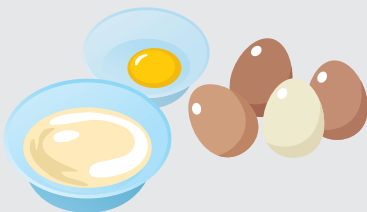
生肉（生の豚肉や野生鳥獣肉）には有害な寄生虫や細菌が存在する可能性があるため注意が必要です。犬や猫に肉を与える時は加熱調理を行い予防しましょう。

■ 香辛料



犬や猫は、香辛料に対する耐性が低いので肝臓障害の症状を引き起こすことがあります。

■ 生卵（生の卵白）



犬や猫に生の卵白を与え続けると、ビオチンが欠乏し皮膚炎、成長不良の症状を引き起こすことがあります。

ただし、卵白のみを与える場合でも、加熱調理をすれば問題はありません。また、生であったとしても、全卵であれば、卵黄にビオチンが多く含まれますので欠乏症にはなりません。

■ にぼし、海苔



犬や猫には、マグネシウムの過剰が要因となり尿路疾患を引き起こすことがあります。

市販のペットフードについて

2-1 市販のペットフードの種類と選び方

●市販のペットフードには、製品の形状や与える目的によってさまざまな種類があります。

主食は総合栄養食を選びましょう。また、ライフステージによって、必要なエネルギー量や栄養素のバランスは変化します。総合栄養食のうち、成長段階、気になる健康状態に合わせて選んだ上で、味や質感（水分含量など）は好みで選ぶことができます。

使用目的による分類

●総合栄養食

毎日の主要な食事として与えることを目的とし、新鮮な水と一緒に与えることで犬や猫の健康を維持できるように栄養バランスが整えられています。

●療法食

犬や猫の疾病の治療などの際に栄養学的なサポートをするために、治療の内容に合わせてフードの栄養成分を調整し、治療を補助する目的で与えるフードです。使用は獣医師の管理の下に行われます。

●間食（「おやつ」または「スナック」）

おやつやごほうび、ペットとのコミュニケーションの手段として与えるものです。ジャーキータイプや肉・魚・果物などの素材を乾燥したタイプ、乾燥野菜類、肉・魚・果物などを液状にしたジェル状おやつ他にオーラルケアにも役立つ成型ガム類、ボーロ・ビスケットなどの菓子タイプ等様々なものがあります。ペットが欲しがるままに与えて必要な栄養バランスが損なわれないように一日に与えて良い量、回数が記載されています。

●その他の目的食

犬や猫に給与されるフードで「総合栄養食」、「療法食」、「間食」のいずれにも当てはまらないものを総称してその他の目的食といいます。「総合栄養食」ではない缶詰、レトルトフード、栄養補給のサプリメント、食欲増進や特定の栄養成分の補給を目的としたものなどがあります。製品のパッケージには「副食」、「一般食（おかずタイプ）」、「栄養補完食」などと記載されています。

水分含量による分類

●ドライタイプ

- ・カリカリとした食感
- ・重量あたりの栄養価が高い



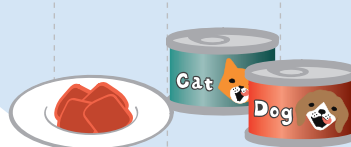
●セミモイストタイプ・ソフトドライタイプ

- ・半生タイプや、ジャーキーなどのスナック製品



●ウェットタイプ

- ・缶詰、パウチ、アルミトレイカップなどの密封容器で加圧加熱殺菌された製品
- ・風味がよく、食べやすい



水分含量 (%) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

ライフステージによる分類

●哺乳期

誕生～30日ぐらい。母乳が飲めない時は、犬または猫専用のミルクを与えます。

●離乳期

生後20～60日ぐらい。やわらかくしたフードを少しずつ与えます（離乳期用または成長期用）。

●成長期

生後50日から、小型犬では10か月ぐらい、中型犬では1年ぐらい、大型犬では1年半ぐらい、猫では1年ぐらいの期間。市販製品では、成長期用（子犬用または子猫用）のフードがあります。

●成犬、成猫期

成長期を終えてから7年間（大型犬では5年）程度の時期をいいます。市販製品では、成犬用、または、成猫用のフードがあります。

●中高齢期

約8～10歳（大型犬は6～7歳）以降の時期を言います。最近は年齢をより細かく分けて表示されたものもあります。

MEMO フードの切り替え方

ある年齢になったからといって、急にその年齢用のフードに切り替えるのはあまり良いことではありません。食べ慣れていないフードに切り替えると、吐いてしまったり、下痢をすることもあります。フードを変えるときには、犬や猫の状態を見ながら1～2週間かけて新しいフードの割合を徐々に増やしていきましょう。

犬と人間、猫と人間の年齢の目安（品種等によってもこの関係は違ってきます）

24+(年齢-2年)×4

最初の2年で24歳、3年目からは1年に4歳ずつ年をとると言われています。



小～中型犬・猫	人
1歳	15歳
2歳	24歳
3歳	28歳
5歳	36歳
7歳	44歳
10歳	56歳
12歳	64歳
15歳	76歳
20歳	96歳

12+(年齢-1年)×7

最初の1年で12歳、2年目からは1年に7歳ずつ年をとると言われています。



大型犬	人
1歳	12歳
2歳	19歳
3歳	26歳
5歳	40歳
7歳	54歳
10歳	75歳
12歳	89歳
15歳	110歳

2-2 表示の見方

●表示をよく確かめて、目的に合ったフードを選びましょう。

市販のペットフードのパッケージには、犬や猫の健康と安全を守るために参考となる情報はもちろん、他にも様々な情報が日本語で記載されています。

5つの 表示義務

ペットフード安全法に基づく表示

国内で販売されるペットフードに記載することが義務づけられている表示です。

1 名称

犬用？猫用？

商品名とともに犬用か猫用かが分かるように記載されています。

2 賞味期限

いつまで与えていいの？

決められた方法で保存した場合に、栄養価や品質が保証出来る期限です。年月日または年月で記載されています。

3 原材料名

何が入っているの？

フードに使用したすべての原材料と添加物が記載されています。

4 原産国名

どこで作られているの？

フードの最終加工が行われた国が記載されています。

5 事業者名及び住所

だれの製品なの？

事業者の種別名（輸入者、製造者又は販売者）、名称や住所などが記載されています。

表示の例

品 名	〇〇ドッグフード
用 途	成犬用総合栄養食
賞 味 期 限	2021.02
保 存 方 法	直射日光を避けて
原 材 料 名	穀類（とうもろこし、 動物性油脂、野菜類 ビタミン類（A、B1、 酸化防止剤（ミック
原 産 国 名	日本
内 容 量	3kg
製 造 者	ABCペットフード 〒100-0000 東京 お問い合わせ先

■成分

たんぱく質	18%以上
脂質	5%以上
粗繊維	5%以下
灰分	8%以下
水分	12%以下

この商品はペットフード公正取引
成犬用の総合栄養食の基準を満



ペットフードの表示に関する公正競争規約

不当景品類及び不当表示防止法（昭和37年法律第134号）に基づき、定められた規約で、消費者が適正に商品の選択ができるように業界で設定されているルールです。

1 用途

どういう目的で与えるの？

「総合栄養食」、「間食」、「療法食」、「その他の目的食」であることが分かるように記載されています。（P8参照）

2 内容量

どのくらい入っているの？

製品の正味量がg（グラム）やmL（ミリリットル）などの単位で記載されています。おやつなどは個数の場合もあります。

3 与え方

どのくらいの量を、どのように与えればいいの？

フードの目的に合わせて1日に与える量や回数等の目安が記載されています。

4 成分

栄養成分はどのくらい？

主要な栄養成分や水分量が%で記載されています。多くのフードではkcal/100gも記載されています。

<チキン>

冷暗所で保管してください。

小麦）、肉類（チキン、ビーフ）、
（ほうれん草、にんじん）、
B6）、ミネラル類（P、Ca）、
ストコフェロール）

株式会社
都千代田区犬猫町1-2-3
03-1234-〇×〇×

■ 給与方法

成犬体重1kgあたり1日に〇
〇gを〇回に分けて与えてく
ださい。

協議会の定める分析試験の結果、
たすことが証明されています。

ペットフードの保存方法

3-1 ペットフードの保存方法

●ペットフードは種類によって保存方法や保存期間が異なります。保存状態が悪いと犬猫の健康に影響することもあるため、正しい保存方法を守りましょう。

ペットフードの取扱い一般

ペットフードの種類に合わせた適切な取扱いを心がけ、賞味期限内に使い切りましょう。保存状態が悪いと、賞味期限内でも品質が悪くなることがあります。またフードを与えるときに使用する食器等の衛生面にも気をつけてください。フードの残るかすや水分は、微生物の格好の繁殖場所となります。使い終わった食器等はきれいに洗い、乾燥させて清潔な場所に保管しましょう。食器の後片付けや、食べ残しの片付けが済んだら、最後に石けんで手を洗い、飼い主にとっても犬や猫にとっても衛生的な環境を保つように心がけましょう。



●ドライフード、ソフトドライフード 使用期限の目安：開封後約1か月

袋をしっかり閉じて、直射日光が当たらない、温度・湿度が低い場所で保存しましょう。

冷蔵庫で保存すると、与えるときの出し入れの際に、フード表面に結露を生じ、カビ等の発生の原因になることがあるので常温で保存するようにしましょう。

開封後は、なるべく早く使い切れるように犬や猫の大きさにあったサイズの製品を選びましょう。

ドライフードは比較的長期間保存できる利点がありますが、食器に出した後は、時間とともに香りや食感が失われます。また、犬や猫の唾液がついたまま放置すると、有害な微生物が発生する可能性があるため、食べ残しは放置せずに片付けるか、定期的に新しいものに交換しましょう。



●セミモイストフード 使用期限の目安：開封後2週間程度

袋をしっかり閉じて、冷蔵庫で保存しましょう。

開封後は袋をしっかり閉じて冷蔵庫で保管し、使う分だけを冷蔵庫から取り出して与えましょう。

密閉できる袋や容器に入れて冷蔵保存するのも有効です。



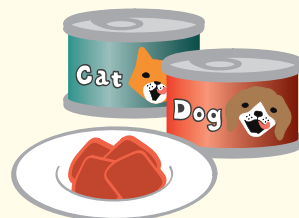
●ウェットフード 使用期限の目安：開封後1日

開封したらすぐに与えましょう。

未開封の缶詰やレトルトフードは、直射日光が当たらない温度変化の少ない場所で保存しましょう。未開封であれば長期間保存できる利点があります。

開封後に余ってしまった場合は、別の容器に移し替えて冷蔵庫で保存し、その日のうちに使い切りましょう。1日以上保存する場合は冷凍保存して、与える際に解凍する方法も可能ですが、食味等を損なう場合があります。

また、食器に出した後の酸化、腐敗、有害微生物の繁殖等の品質の変化が、ドライフードに比べて早いため、20分程度を目安に片付けましょう。



体調管理について

4-1 痩せすぎ、太りすぎにしないために

●犬や猫を健康に育てるためには、私たち人と同じように、痩せすぎ・太りすぎは、よくありません。

大きくなるのがイヤだといって、成長のために多くのカロリーを必要とする子犬や子猫に与える量を制限したり、喜ぶからといってフードを与えすぎたり、おやつは“別腹”などと思っ

てはいませんか？
痩せすぎ、太りすぎにならないよう適正な体型を保ちましょう。

食事量の決め方

犬や猫にペットフードを与える際には、製品のパッケージに表示されている食事量を目安に与えるようにしましょう。

このとき、はかり（ない場合は計量カップ）を使ってフードの重さを量るようにしましょう。

多くの場合、与えるべき食事量は体重に対して表示されています。このときの体重とは、現在の犬や猫の体重ではなく、理想体重のことを示しています。理想体重はボディコンディションスコア（BCS）を参考に求めることができるので、犬や猫の理想体重を知りたい場合には獣医師に相談してみましょう。（P14参照）

また、季節や運動量によっても必要なエネルギー量は変わるため、定期的に体重をはかり、理想体重を維持できるように食事量の見直しを行いましょう。

MEMO 食事量を計算してみよう

安静にしているときに必要なエネルギー量は、次の簡易式を利用して体重から計算することができます。

安静時のエネルギー要求量（RER）（キロカロリー）

$$= \text{体重 (kg)} \times 30 + 70$$

日々の生活に必要なエネルギー量は、成長段階や活動量に応じ、係数をかけて計算することができます。

1日当たりのエネルギー要求量（DER）（キロカロリー）

$$= \text{RER} \times \text{係数}$$

■計算例 体重5kgの犬と猫（避妊去勢済み）

安静時のエネルギー要求量（RER）

$$= \text{体重} 5\text{kg} \times 30 + 70 = 220 \text{キロカロリー}$$

※体重が2～45kgの場合のみ計算可能

1日当たりのエネルギー要求量（DER）
 （犬の場合） 220×1.6 （係数） $= 352 \text{キロカロリー}$
 （猫の場合） 220×1.2 （係数） $= 264 \text{キロカロリー}$

※係数は、成長段階や活動量によって変わります。詳しくは獣医師に相談しましょう。

さらに、ペットフードに表示されている代謝エネルギー（ME）から、1日当たりの食事量を計算することができます。

1日当たりの食事量
$$= A \div B \times 100$$

A・・・1日当たりのエネルギー要求量（DER）

B・・・ペットフードに表示された代謝エネルギー（ME）

MEMO 体重を測定しよう

体型の微妙な変化は見た目からでは、なかなか気付きにくいものです。そのため、日頃から体重を測定しておくことが重要です。（週1回程度がおすすめです。）

犬や猫を抱いて体重計に乗り、体重を測定した後に、人の体重を引き算すると犬や猫の体重を測定することができます。



ボディコンディションスコア (BCS) について

ボディコンディションスコア (BCS) は見た目と触れた状態から、体型 (特に脂肪の付き具合) を9または5段階で評価します。なお、現在の体重とBCSから理想体重を求めるには、獣医師に診てもらうことをおすすめします。

犬や猫のボディコンディションスコア (BCS) と体型 ※この表ではBCSが3の時の体重を理想体重としています。

BCS 1	BCS 2	BCS 3	BCS 4	BCS 5
痩せ	やや痩せ	理想体重	やや肥満	肥満
 肋骨、腰椎、骨盤が外から容易に見える。触っても脂肪が分からない。腰のくびれと腹部の吊り上がりが顕著。	 肋骨が容易に触れる。上から見て腰のくびれは顕著で、腹部の吊り上がりも明瞭。	 過剰な脂肪の沈着なしに、肋骨が触れる。上から見て肋骨の後ろに腰のくびれが見られる。横から見て腹部の吊り上がりが見られる。	 脂肪の沈着はやや多いが、肋骨は触れる。上から見て腰のくびれは見られるが、顕著ではない。腹部の吊り上がりはやや見られる。	 厚い脂肪におおわれて肋骨が容易に触れない。腰椎や尾根部にも脂肪が沈着。腰のくびれはないか、ほとんど見られない。腹部の吊り上がりは見られないか、むしろ垂れ下がっている。
 肋骨、腰椎、骨盤が外から容易に見える。首が細く、上から見て腰が深くくびれている。横から見て腹部の吊り上がりは顕著。脇腹のひだには脂肪がないか、ひだ自体がない。	 背骨と肋骨が容易に触れる。上から見て腰のくびれは最小。横から見て腹部の吊り上がりはわずか。	 肋骨は触れるが、見ることはできない。上から見て肋骨の後ろに腰のくびれがわずかに見られる。横から見て腹部の吊り上がり、脇腹にひだがある。	 肋骨の上に脂肪がわずかに沈着するが、肋骨は容易に触れる。横から見て腹部の吊り上がりは丸くなり、脇腹は窪んでいる。脇腹のひだは適量の脂肪で垂れ下がり、歩くと揺れるのに気づく。	 肋骨や背骨は厚い脂肪におおわれて容易に触れない。横から見て腹部の吊り上がりは丸く、上から見て腰のくびれはほとんど見られない。脇腹のひだが目立ち、歩くと盛んに揺れる。

肥満を防ぐには、適度な運動と食事管理が必要です。

おやつやごほうびを与えることは、犬や猫とのコミュニケーションをとるひとつの手段ですが、おやつは一日に必要なエネルギー量の20%以内を目安にし、また、与えた分だけ主要な食事の量も減らすようにしましょう。

なお、本格的なダイエットが必要な場合には、必ず獣医師の指導の下で行うようにしましょう。

4-2 日頃の体調管理

●日頃から犬や猫の体調をよく観察することが大事です。

犬や猫は、体調が悪いときでも、言葉で伝えることができません。日頃から犬や猫の身体や行動をよく観察し、少しでも異変を感じたら早めに獣医師に診てもらいましょう。また、かかりつけの獣医師をみつけておくで安心です。

目

- 目ヤニ・涙の量
- 色（充血・白濁）

鼻

- くしゃみ・鼻汁（鼻水）の量
- 鼻のつまり

口

- 口の汚れ・口臭
- 歯ぐきの腫れ・出血
- 飲水量（異常に多い・少ない）
- 毛玉を頻繁に吐く（猫）

四肢・歩様

- 指や肉球、爪の状態
- 歩き方の変化
- 高いところに登りたがらなくなった（猫）

耳

- 耳の汚れ
- 赤み・腫れ
- におい

皮膚

- 毛のツヤ
- フケの量
- 脱毛、しこり、毛玉

肛門・便・尿

- 肛門周囲の汚れ・腫れ
- 便、尿のにおい・色
- 便、尿の回数・量

全身の状態

- 元気がない、ぐったりしている
- 熱がある（正常体温は38.0～39.0℃）
- 嘔吐をくり返す
- 咳がひどい
- 呼吸の変化

猫では

- 1日以上1カ所に隠れて出てこない
- 休みなく鳴いている
- 食欲がない（3日以上食欲がない場合健康に影響が出る危険があります）

犬では

- 食欲がない（正常な犬でもフードを1～2日間食べない個体もいますが、積極的に食べない場合は病気の兆候とも考えられます）
- 散歩にいきたがらなくなった

4-3 こんなことにも気をつけましょう

誤飲に気をつけましょう

誤飲とは、本来食べるものでない“モノ”を飲み込んでしまう事故です。

誤飲はちょっと目を離した隙に起きる場合が多く、命にかかわる事故にもつながるため、犬や猫が口にして困るものは犬や猫の手が届かないように工夫しましょう。

特に子犬は色々なものを口にしてしまうので注意が必要です。

●ストッキング、靴下、ひも、糸

ひも状の異物を飲み込んで腸管に絡まると、重大な事故となります。絨毯などからほつれた糸も事故の原因になるので注意しましょう。

●竹串、トウモロコシの芯、果物の種

竹串に刺さった食べ物、トウモロコシ、果物（種の大きいもの）をそのまま与えると、犬や猫が丸ごと飲み込んでしまうことがあります。竹串が胃や腸に刺さったり、トウモロコシの芯や果物の種が通過できずに詰まってしまい重大な事故につながることもあるため、これらをそのまま与えるのはやめましょう。

●観葉植物の中毒

観葉植物の中には、犬や猫に嘔吐、心臓麻痺、痙攣など中毒を起こすものがあります。身近なユリ（植物全体）、チューリップ（球根）、ポインセチア（茎、葉）、アサガオ（種子）なども犬や猫にとって有毒な成分を持っています。これらは中毒を起こす植物の一部ですので、その他の観葉植物にも注意が必要です。



ユリ



チューリップ



ポインセチア



アサガオ



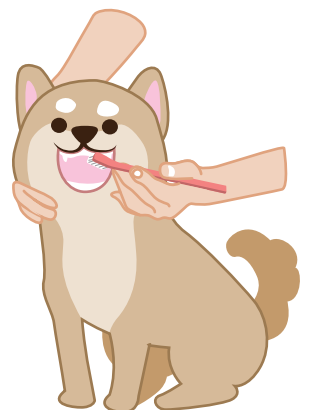
歯のケア

犬は生まれてから約1か月で28本の乳歯が生え揃い、3～7か月で42本の永久歯に生え変わります。猫では生まれてから約1か月半で26本の乳歯が生え揃い、4～8か月で30本の永久歯に生え変わります。

歯ブラシなどを使用した歯磨きの習慣をつけることは、健全な歯を保つことにつながります。

できるだけ、子犬や子猫の時から口に触れられることに慣らしておきましょう。歯磨きが難しい場合は、歯垢が付きにくいドライフード、デンタルケア用のガムやおもちゃを利用すると良いでしょう。

万が一、歯に異常がある場合は、歯周病などの歯や口の病気だけでなく、それが原因で全身性の病気が引き起こされることもありますので獣医師に診てもらいましょう。



Q1

ペットフード安全法の対象となる「愛がん動物用飼料」とはどのようなものですか。対象動物は何ですか。

A

愛がん動物用飼料とは、犬・猫の栄養に供することを目的として使用されるものと定義されています。そのため、犬や猫が口にする可能性のあるものであっても、おもちゃ、愛がん動物用飼料の容器等は、栄養に供するものではないことから、ペットフード安全法の対象となりません。香り付けや遊具として使用することを目的としたまたたび製品や猫が飲み込んでしまった毛と一緒に吐き出すことを目的としている猫草も対象になりません。

Q2

普段購入しているペットフードについて、いつもと色や臭いが違うようでした。どうしたら良いでしょうか。

A

ペットフードに異常があると思った場合、犬や猫に与えることをやめましょう。その上で、ペットフードのパッケージ等に記載されている事業者を確認することをお勧めします。(P.10~11)

Q3

ペットフードを食べた後に、嘔吐や元気消失など体調不良が認められた場合、どうしたら良いでしょうか。

A

まずは、かかりつけの獣医師に診てもらいましょう。

与えたペットフードが原因かどうかについては、診察の結果に基づいて、獣医師から助言を得られる可能性もありますので、ペットフードによる健康被害の可能性がある旨（できれば製品を持参、ペットフードを与えた時の様子など）も獣医師に説明するようにしましょう。

その上で、ペットフードのパッケージ等に記載されている事業者を確認することをお勧めします。（同一製品で同様の健康被害が発生しているかどうかも確認しましょう。）（P.10~11）

また、地方環境事務所の窓口においても問い合わせやご相談を受け付けています。（P.21）

Q4

**現在のペットの体重に合わせた目安の量のペットフードを与えていたら
ペットが肥満になってしまいました。
どのように与えるのが正しいのでしょうか。**

A

ペットフードを与える際の目安の量は犬や猫の理想体重を元に計算されています。そのため、現在の犬や猫の体重に合わせてペットフードを与えると、多すぎたり、少なすぎたりする場合があります。

犬や猫の理想体重は個体や骨格によっても異なるため、かかりつけの獣医師に相談して、ペットの理想体重を把握しましょう。

また、表示されている給与量は目安であり、犬や猫が必要とする栄養の量は季節や運動量、性別、避妊去勢の有無などによっても変化します。

定期的に体重をはかり、犬や猫の理想的な体型を維持出来るように心がけましょう。

Q5

ペットが高齢になり、寝ていることが多くなりました。食事はどのようなことに気をつけたら良いのでしょうか。

A

一般的に8～10歳くらいから中高齢期に入り、人と同様に高齢になると犬や猫も内臓の働きや運動機能が低下するとともにエネルギー要求量も減ってきます。そのため高齢期専用のペットフード（低エネルギー、低脂肪、良質なタンパク質のペットフード）を与えるようにしましょう。さらに、嗅覚や味覚が衰え、食欲が低下することも多いため、フードを人肌に温めたり、お湯でふやかしたり、塩味のついていないチキンスープをかけて食欲が落ちないように工夫しましょう。

また、室内でも良いので動く（歩く）ことを促して筋肉の維持に努めることなども必要な可能性がありますので、獣医師に相談してみましょう。

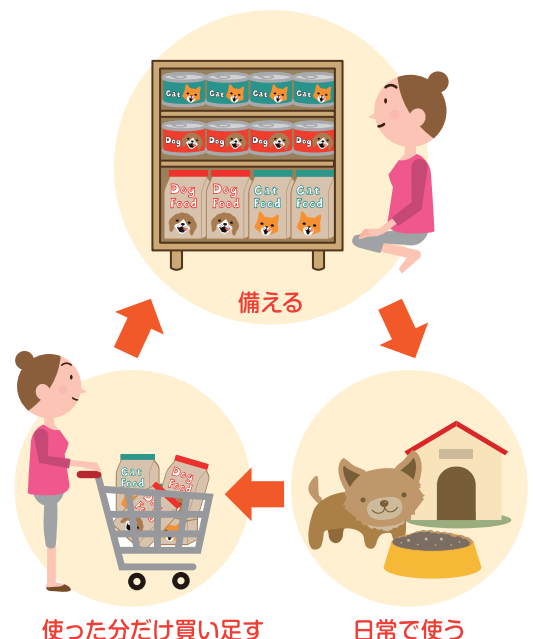
Q6

大規模災害に備えて、ペットフードの備蓄はどれくらい必要でしょうか。

A

災害時であってもペットの安全と健康を守るのは飼い主の責任です。平常時からペットフードや水については飼い主の責任で少なくとも5日分、できれば7日分を用意しておくようにしましょう。特に、療法食を与えている場合には獣医師と事前に相談し対応を考えておきましょう。

また、例えば人用の災害対策として、普段から少し多めに食料を買っておき、使った食料分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく「ローリングストック法」という方法があります。



Q7

犬と猫と一緒に飼育しているのですが、犬が猫用（猫が犬用）のフードを食べてしまいます。

犬が猫用のフードを、猫が犬用のフードを食べてしまっても大丈夫でしょうか？また、これを防ぐ方法がありますか？

A

元来、犬と猫は異なった動物であり、必要とする栄養素は違います。たまたま少量を食べてしまう分には問題が生じることはありませんが、長期的には、特定の栄養素について過剰、不足が生じて健康上の問題を引き起こす可能性があります。（P.3）

なお、犬用ペットフードには保湿性を向上させるため、プロピレングリコールが添加されているものがありますが、その程度の添加量でも猫には悪影響を及ぼす可能性があります。（ペットフード安全法では、プロピレングリコールは猫用のペットフードに用いてはいけません。）

食事の時間や場所を分けるなどの工夫をし、犬・猫専用のフードを間違いなく与えるようにしましょう。

Q8

ライフステージごとに栄養の必要量が異なるため、ライフステージにあったフードを与えなければいけないと教えられましたが、ライフステージが異なる犬あるいは猫を数頭飼育している場合に、どのように管理すれば良いのでしょうか？

A

例えば、ドライフードでは成長期用は成犬・成猫用のフードよりも同じ食事量でも多くのエネルギーや成長のために必要な栄養（たんぱく質、カルシウムなど）が摂取できるように作られています。成犬・成猫用のフードを幼犬・幼猫に与えると栄養不足になりますし、逆に幼犬・幼猫用のフードを成犬・成猫に与えるとエネルギーが過剰となり肥満になります。このため、ライフステージごとのフードを食べさせることは、とても重要です。

複数頭を飼育する場合、例えば、フードを与える場所を変える。（子犬はケージの中でフードを与え、食べ終わったら、すぐに片づける）時間をずらすなどの工夫が必要です。

Q9

ペットの健康のために、食事の他にサプリメントを与えたいのですがどんなものが良いですか？

また、人用のサプリメントを与えてもよいですか？

A

サプリメントは栄養補助食と言われ、ビタミンやミネラルなどの特定の栄養成分を補充するために与えるものです。

本来、総合栄養食を与えている場合は栄養分の不足はおこりにくいと思われます。また、栄養素の不足しがちな、成長期や授乳期にはライフステージに合ったフードを選ぶことで、必要な栄養を補うことができます。

しかし、手作りの食事を与えている時は栄養素の不足が起こりやすいため、栄養成分を計算した上で与えるようにしましょう。

健康補助食品として、ダイエット用サプリメントなどを用いる場合は、十分に安全性が確認されたものを使うことをおすすめします。また、複数の健康補助食品を使用する場合には、悪影響が出ることもあるので獣医師に相談しましょう。

また、人用のサプリメントは人に安全性が確認されていても、犬や猫には毒性を示すサプリメントもあります。必ず犬や猫で安全性が確認されているものを与えるようにしましょう。

参考資料

- 阿部又信. 2008. 動物看護のための小動物栄養学. 改訂3版 (日本小動物獣医師会動物看護誌員会監修). 株式会社ファームプレス. 東京. (2008)
- 全国動物保健看護系大学協会カリキュラム検討委員会編. 2014. 動物看護学教育標準カリキュラム準拠動物栄養管理学. interzoo (2014)
- 一般社団法人日本ペット栄養学会編. ペット栄養管理学テキストブック. 株式会社アドスリー. (2008)
- 猪熊 壽、内藤 善久、岩崎 利郎、滝口 満喜、辻本 元、日本獣医内科学アカデミー編集. 獣医内科学第2版小動物編. 文永堂出版 (2014)
- 左向敏紀、石田卓夫、太田光明. 一般社団法人ペットフード協会編集. ペットフード／ペットマナー検定公式テキスト. (2011)
- Cambridge University Press (James Serpell) The Domestic Dog: Its Evolution, Behavior and Interactions with People (2nd edition) (2016)
- Cambridge University Press (Dennis C. Turner , Patrick Bateson) 2013 The Domestic Cat: The Biology of its Behaviour (3rd edition) (2013)
- Hand M.S., et.al. (岩崎利郎, 辻本 元 監訳). 小動物の臨床栄養学 第5版, マーク・モーリス研究所 日本連絡事務所, (2014)
- Morris JG, Rogers QR. Assessment of the nutritional adequacy of pet foods through the life cycle. Journal of Nutrition. (1994) 124 (12 Suppl) 2520S-2534S
- 一般社団法人ペットフード協会. ペットフード流通量調査結果 1993年 (平成5年) ～2016年 (平成28年)
- ペットフード公正取引協議会「ペットフードの表示に関する公正競争規約(平成28年11月22日)」及び「ペットフードの表示に関する公正競争規約施行規則(平成27年7月14日)」
- ペットフード公正取引協議会. ペットフードの表示に関する公正競争規約・施行規則 解説書, (2016)
- Association of American Feed Control Officials (AAFCO). Official Publication. Association of American Feed Control Officials Incorporated.. (2016)
- WSAVA.Global Nutrition Assessment Guidelines, (2011)
- 文部科学省日本食品標準成分表 (2015年版) (七訂)
- 厚生労働省日本人の食事摂取基準 (2015年版)
- アニコム損害保険株式会社STOP誤飲プロジェクトホームページ

地方環境事務所等一覧

お問い合わせやご相談は、お近くの地方環境事務所の窓口へ

事務所	TEL	住 所
北海道地方環境事務所	011-299-1950	〒060-0808 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎 3F
釧路自然環境事務所	0154-32-7500	〒085-8639 北海道釧路市幸町10-3 釧路地方合同庁舎 4F
東北地方環境事務所	022-722-2870	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第二合同庁舎 6F
関東地方環境事務所	048-600-0516	〒330-6018 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2 明治安田生命さいたま新都心ビル 18F
中部地方環境事務所	052-955-2130	〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸 二丁目5番2号
信越自然環境事務所	026-231-6570	〒380-0846 長野県長野市旭町1108 長野第一合同庁舎
近畿地方環境事務所	06-4792-0700	〒540-6591 大阪府大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル 8F
中国四国地方環境事務所	086-223-1577	〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎 11F
中国四国地方環境事務所 高松事務所	087-811-7240	〒760-0019 香川県高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎南館 2F
九州地方環境事務所	096-322-2400	〒860-0047 熊本県熊本市西区春日2丁目10番1号 熊本地方合同庁舎 B棟 4F
那覇自然環境事務所	098-836-6400	〒900-0022 沖縄県那覇市樋川1丁目15番15号 那覇第一地方合同庁舎 1F

飼い主のためのペットフード・ガイドライン

～犬・猫の健康を守るために～

発 行：環境省自然環境局総務課動物愛護管理室

H P： http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/petfood_guide_1808.html

監 修：大島誠之助（倉敷芸術科学大学 生命科学部 非常勤講師）

大野和彦（ペットフード公正取引協議会 表示委員長）

木村裕司（一般社団法人ペットフード協会 普及啓発委員長）

左向敏紀（一般社団法人日本ペット栄養学会 会長）

藤井立哉（一般社団法人獣医療法食評価センター 専務理事）

協 力：一般社団法人ペットフード協会

一般社団法人日本ペット栄養学会

一般社団法人獣医療法食評価センター

ペットフード公正取引協議会

オブザーバー：農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課

作 成：一般社団法人日本科学飼料協会

発行日：2018年8月（第三版）

編集・デザイン：株式会社キタジマ